

県 中 広 報

事務局発行 (E-mail : h34@ken-chu-hiroshima.nss55.net)
(http://www.ken-chu-hiroshima.nss55.net/)

令和5年6月9日

本年度会長に、藤田 典生 校長（北広島町立大朝中学校）選出

令和5年4月14日（金）に常任理事会が開催され、本年度の本部役員候補者の選考が行われました。その後の理事会において、次の方々が本年度の本部役員として承認され、決定しました。

会 長	藤田 典生	（北広島町立大朝中学校）	副会長	大里 康暁	（庄原市立口和中学校）
副会長	沖元 成寿	（江田島市立三高中学校）	副会長	坂口 守	（呉市立天応学園）
副会長	田丸 誠	（福山市立東中学校）	副会長	谷川 清二	（廿日市市立大野東中学校）
副会長	谷川 清二	（廿日市市立大野東中学校）	会計監査	渡部 光昭	（府中市立府中学園）
会計監査	川本 憲明	（廿日市市立阿品台中学校）	事務局長	河北 光弘	（海田町立海田中学校）
事務局長	河北 光弘	（海田町立海田中学校）			

また、会長の委託等により次の方々が本部役員及び事務長に決定しました。

事務局次長	角濱 慶司	（三次市立十日市中学校）	幹 事	郷地 忠幸	（東広島市立磯松中学校）
幹 事	河本 英希	（呉市立吉浦中学校）	幹 事	林 健太郎	（安芸太田町立安芸太田中学校）
幹 事	藤井 規光	（福山市立城東中学校）	幹 事	小原 正啓	（尾道市立百島中学校）
幹 事	小原 正啓	（尾道市立百島中学校）	事務長	石井 博基	
事務長	石井 博基				

本年度基本姿勢 「結束し 新たな価値を創造する」

藤田 典生 会長 あいさつ（抜粋）



この度、広島県公立中学校校長会の会長を拝命いたしました藤田です。75年の歴史と伝統のある県中校長会の会長ということで身の引き締まる思いです。なにとぞよろしくお願いいたします。（中略）

本年度の基本姿勢を「結束し 新たな価値を創造する」としました。

まず、「結束し」について、私は、校長会が結束していることが、なによりも大切だと考えています。昨年度、様々に協議を重ね、今年度から広島市公立中学校校長会の再合流が実現しました。広島市が再合流することで本会は、県内の全公立中学校長の集まりとなりました。私はこのことを本当にうれしく思っています。全ての活動を共にするには至っていませんが、この会が県内全公立中学校長、組織としては全ての郡市等校長会で構成されることとなり、

だからこそ、全校長の総意として様々な場で意見を述べ、また、校長会としての意見が求められると思っています。それは中四国や全日中でも同じことです。県中校長会組織から一つの郡市等校長会も、そして、一人の校長も抜けさせてはならないというのが私の思いです。日頃から校長同士が連携・協力し、困ったときには互いに支え合い、学び合い、そして校長としての力量を高め合う校長会であること、これが最も大切にするべきことであると思います。こういった思いを、ここ数年基本方針に用いられている「結束し」という言葉に込めさせていただきました。県教委や各市町教育委員会からも意見を求められる、また、各種関係団体からも信頼されあてにされる校長会でありたいと思います。

次に、「新たな価値を創造する」に込めた思いと具体的な取組についてです。コロナ禍での経験を生かし、新たな発想で諸課題の解決に取り組むことが、新たな価値、持続可能な取組につながると考えています。また、来年度に控えた第58回中国四国中学校長研究会広島大会のスローガンが、皆さんの同意を得て、「新たな価値の創造を 学びの変革地 広島から」に決定しました。本年度の取組が来年度の中四国大会における新たな価値の創造につながり、大会の成功へとつながるものでありたいと思います。（中略）

コロナ禍の三年間で、新しく校長先生になられた方も多くおられます。参集することが難しく、悩みを話すことができにくい状況だったと思います。（中略）この三年間、参集することが難しかったゆえに、私は現場の声を十分に届けられていないことが多くあったのではないかと危惧しています。（中略）課題は山積ですが、県教委をはじめとする関係機関にしっかりと発信していきたいと思っています。

以上、皆様には、「結束し 新たな価値を創造する」の思いを受け止めていただき、全会員が一致結集し、生徒の生きる力の育成に向け、様々な教育課題の解決に向け、そして保護者県民の期待に応えるべく組織を挙げて取り組んでいきましょう。これから1年間よろしくお願いいたします。

第1回理事会

令和5年4月14日(金) 東区民文化センター

はじめに令和4年度活動報告(案)及び会計決算(案)が検討され、次に役員改選が行われました。続いて、新会長の経営方針が示された後、令和5年度活動計画(案)及び予算(案)並びに大会宣言(案)が検討され、代議員会に向けての準備が整いました。

午後には、各郡市等中学校長会の基本方針や重点取組、職場体験学習について情報交換を行いました。

その後、広島県教育委員会事務局 高校入学者選抜制度推進課から「新しい公立高等学校入学者選抜制度の成果と課題」について説明があり、その後、意見交換を行いました。「出された意見を精査し、本制度をブラッシュアップする。」旨の回答をいただきました。

最後に、広島県教育委員会事務局 義務教育指導課 教育指導監 松尾真理 様から「校長に期待すること～『学びの変革』で目指す自校の学びの姿～」と題して指導講話をいただきました。その中で、「発信力を目指した英語教育の推進」等「令和5年度『主体的な学び』の実現に向けた小・中学校における主な施策」について詳しくご説明いただきました。また、「学校経営～人材育成に係るマネジメント～」として、「組織は信頼によって成立し、信頼はコミュニケーションと相互理解によって成立する。」という Peter F. Drucker の言葉を引用しながら、組織の在り方等について示していただきました。今後の学校経営に対する多くの貴重なご示唆をいただきました。



第1回四専門委員会

令和5年5月9日(火) RCC文化センター

昨年度の実践を踏まえ、今年度の推進体制と活動計画が確認されました。県中校長会の活動の中核としての四専門委員会の組織的活動を充実させ、研究をさらに進めることで、会員である校長の資質・能力の向上を図っていきます。

この日、広島県教育委員会事務局から4名の皆様(義務教育指導課 教育指導監 松尾真理 様、同じく 主任指導主事 村田耕一 様、同じく 主任指導主事 半田光紀 様、豊かな心と身体育成課 生徒支援係長 土田俊弘 様)をお招きし、各専門委員会の研究についてご指導をいただきました。

本年度の各委員会の体制、活動内容等は次のとおりです。



委員会	◎委員長 ○副委員長 □県公連委員	◇基本方針 ・活動内容
学校経営	◎矢原 豊祥(豊栄中) ○杉本 克之(世羅西中) ○永井 博美(比和中) □荒森 圭子(明徳中)	◇新たな教育課題等へ適切に対応できる学校体制を構築し、子供と向き合う時間を確保することで教育の質の向上を図り、学校経営に関わる諸問題について校長のマネジメントの視点から研究を推進する。 ・学校における働き方改革を推進し、勤務時間管理などシステム・ハード面の研究と人事管理評価の運用などソフト面の研究を行い、教職員の働く意識を高め、持続可能な学校運営に係る調査・研究(実践事例の紹介を含む)を行う。
教育研究	◎西川 紫(一ツ橋中) ○大島 美紀(白岳中) ○皿谷 修(向丘中) □原田 二郎(安芸津中)	◇「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、「授業改善」と「評価の在り方」について研究を進める。 ・生徒の成長につながる妥当性・信頼性のある評価の在り方についての調査・研究を行う。 ・「主体的・対話的で深い学び」を創造するための授業改善等の在り方についての調査・研究を行う。
進路指導	◎加藤 真悟(松賀中) ○松田 光弘(広中央中) ○末房 宏康(済美中) □松田 智広(佐伯中)	◇生徒一人一人に望ましい勤労観・職業観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てるキャリア教育の在り方について研究を推進する。 ・キャリア教育の推進に係る調査・研究を行う。 ・キャリア教育の事例研究を行う。 ・進路未決定者の状況についての調査を行う。
生徒指導	◎山口 裕三(城北中) ○八川 慎一(大柿中) ○小島 弘之(中央中) □佐伯 貴昭(甲奴中)	◇『生徒の自己指導能力を高めるための積極的生徒指導の在り方について』一生徒指導上の諸課題の解決に向けてー ・「不登校グループ」と「インターネットグループ」の研究グループを作り、調査・研究を実践する。 ・アンケートを実施し、考察・検証を行い、今後の課題を明らかにし、効果的な実践事例を紹介する。

※いずれの委員会も、委員長、副委員長は県公連委員を兼任しています。

☆第57回中国・四国中学校長研究会山口大会

令和5年6月22日(木)・23日(金)

☆第73回広島県公立中学校校長研究大会西部大会

令和5年8月10日(木)